



上天草市立上天草総合病院

地域医療連携通信

上天草総合病院理念
信頼される地域医療
基本方針

1. 私達は患者様中心の医療をめざします。
2. 私達は、地域に根ざしたこころあたたかな医療を提供します。
3. 私達は、患者様に快適で安全・安心な医療を提供します。
4. 私達は、退院後も安心して療養できる病院をめざします。
5. 私達は、常に自己研鑽に努め、医療水準の向上に励みます。
6. 私達は、健全な病院経営をめざします。

上天草市立上天草総合病院 地域医療支援部

FAX：0969-62-1547(直通)

住所：866-0293 熊本県上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19

電話：0969-62-1122(代) FAX：0969-62-1546(代)

URL：http://www.cityhosp-kamiamakusa.jp/

Eメール：kamiama@cityhosp-kamiamakusa.jp

発行責任者：地域医療支援部長 福田 誠

就任のご挨拶



4月1日付けで上天草市病院事業管理者ならびに上天草総合病院院長を拝命しました、蓮尾友伸です。北九州市生まれ、荒尾市育ちで血液型B型の乙女座、今年還暦を迎える2歳、0歳児の父親です。玉名高校から熊本大学医学部に進学し、昭和57年に卒業のち、当時の第二外科（現消化器外科）に入局後、水俣市民病院（現水俣市総合医療センター）、熊本大学、東京都がん検診センター、済生会熊本病院、熊本赤十字病院、熊本大学、龍ヶ岳町立上天草総合病院、八代総合病院（現熊本総合病院）、水俣市総合医療センター、そして平成24年より、骨を埋めるつもりで上天草市立上天草総合病院に再度勤務して参りました。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、平成19年4月にがん対策基本法が施行され、県下でも10数施設のがん拠点病院が指定されました。その基本的施策は①がん予防および早期発見の推進 ②がん医療の均てん化の促進 ③がん研究の推進です。平たく言えば、癌の手術は都市部の急性期病院でのみ効率的に行いなさいという法律です。心臓カテーテル検査および治療、くも膜下出血や超急性期の脳梗塞の治療などにも同様に都市部への集約化が進みつつあります。さらに現在、各都道府県内をいくつかの区域に分けて、団塊の世代が75歳以上になる2025年にどれだけの病床が必要かを定める地域医療構想が進行中です。先日の報道では、全国で入院病床が約135万床から約120万床へ約15万床の削減となる見通しが発表されました。熊本県全体の病床削減率は30%超と記されています。確かに人口が少なくなれば、採算が合わないためにスーパーや飲食店、娯楽施設は減っていくでしょう。しかし病院も同レベルの話なのでしょうか？。高齢者の多い郡部は春秋は多少空床があっ

上天草市病院事業管理者 兼
上天草市立上天草総合病院長 蓮尾 友伸

も、夏冬には満床になることをご存じないのでしょうか？・・・と言って天に唾吐いても詮なきことです。上天草市の人口は確実に減少するのですから。

この様な時代の要請の中で、私どもの病院施設に要求されていることは、市民への啓蒙活動（予防）の推進、特定健診受診率の向上、がん検診の充実、重症疾患の峻別と適正な医療機関への転送、看護学校での看護師養成、そして当院がかかりつけ医として中心となり、急性期病院と地域の診療所、地域の患者さんを医療・介護にかかわる多職種と連携して結ぶ地域包括ケアシステムの構築です。それには何よりも信頼され愛される病院づくりが必要と考えております。当院ではこの数年間に代謝内科、循環器内科、精神科、小児科の常勤医師が相次いで離職されましたが、平成22年度以降の新臨床研修医制度や新専門医制度導入に伴う大学病院の医師派遣機能の低下により、現在大学各科より曜日を限った外来のみの診療応援を仰いでいる状況です。外来／入院／当直をこなす残った医師が疲弊しないためにも常勤医師確保は喫緊の課題と考えています。

このようなアゲインストの風が吹く中、住民の皆様はもちろん、職員にとっても魅力のある“明るく元気な病院づくり”を初年度の目標と致しました。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成29年度目標

1. 明るく元気な病院にしましょう
 - 挨拶をしましょう
 - 患者さんの立場に立って、ひと工夫をしましょう
 - 集会・レクリエーションには、積極的に参加しましょう
 - 仕事はてきぱきと仕上げ、早く帰りましょう
 - 仕事にやりがいを見つけましょう
2. 多職種連携による在宅医療・介護を推進し、理想の地域包括ケアシステムの完成を目指しましょう

術後廃用症候群の患者さまに対して多職種で取り組んだ症例

リハビリテーション科 千原 好博

過度の安静臥床は身体機能・精神機能の低下を引き起こし廃用症候群といった病態を引き起こします。さらに高齢者はサルコペニアをきたしていることも多い状況にあります。サルコペニアとは加齢や不活動、疾患、栄養状態などが関与し筋肉量が減少することです。

今回、術後の安静臥床により廃用症候群を呈した患者に多職種で介入し退院に至った症例を経験したので報告します。

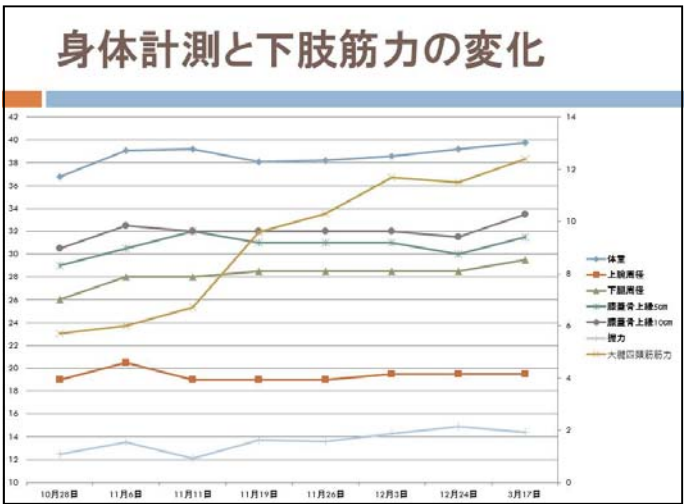
症例は70歳代 女性

特発性S状結腸穿孔による汎発性腹膜炎で、腹腔鏡下結腸切除術・人工肛門造設術を施行されリハビリ目的にて当院へ転院されました。リハビリ開始時は体重36.8kg、BMI15.3とるい瘦・筋力低下・耐久性低下を認め全介助レベルでした。そこでまず栄養アセスメントとしてMNA（簡易栄養状態評価法）による評価と身体計測を行いました。MNAは高齢者の栄養状態を評価するツールで、14.5/30点と、「低栄養の恐れあり」でした。

初期評価

- ◆うつ評価(SDS): 35/80点
- ◆栄養評価
 - MNA 簡易栄養状態評価: 14.5/30点
 - 上腕周径: 19cm (筋肉量低下の目安 21cm以下)
 - 下腿周径: 26cm (筋肉量低下の目安 30cm以下)
- ◆サルコペニア評価
 - 下腿周径: 26cm (筋肉量低下の目安 30cm以下)
 - 握力: 12.7kg (女性 20kg未満)
 - 歩行速度: 0.74m/sec (1.0m/sec未満)

次に身体計測を行いました。身体計測は、上腕周径と下腿周径を測定することで、筋肉量の目安となり栄養スクリーニングとしても有用です。



測定結果は、上下肢ともに筋肉量低下を認めました。また、サルコペニアの評価（筋肉量・握力・歩行速度）も合わせて実施したところ3項目ともにサルコペニアの基準を満たしていました。



一人の患者に多職種でかかわることにより、多角的でよりきめ細やかな医療の提供ができます。今回は他職種（主治医・コメディカル・相談員・NST；栄養サポートチーム）での定期的なカンファレンスを実施し、問題点やゴール設定などの情報共有をしました。

多職種での取り組み

- ◆主治医;治療方針決定・処方
- ◆看護師;離床を進めるため食堂での食事摂取
リハビリパンツへの変更
ポータブルトイレ設置
ストマ管理指導
- ◆栄養士;食事形態やBCAA摂取の相談
- ◆NST;回診にて食事カロリー増加
- ◆MSW;ご家族との連絡・カンファレンスの調整・各種調整など
- ◆リハビリ;下肢筋力訓練・歩行訓練・ADL訓練

リハビリ開始当初は意欲・耐久性ともに低かったもので、低負荷での少量頻回から開始して、栄養状態などを確認しながら徐々に負荷量を漸増し、積極的なリハビリへと進めました。また、リハビリ後に筋肉蛋白合成を促すBCAAを摂取し、運動負荷量の増加に伴いNSTにて食事カロリーアップを行いました。リハビリでは大腿四頭筋の筋力を定期的に評価し5.7kgf→12.4kgfと変化を認めました。10m歩行速度の最終評価は8.4秒となり転倒リスクや屋外歩行可能となるカットオフを上回ることができました。最終的には日常生活動作は全自立し、自宅退院をすることができました。



退任のご挨拶

前 上天草市立上天草総合病院長
坂本 興美

病院と開業の先生や介護事業所のみなさんと一緒に行ってきた地域包括ケアシステムづくり、とくにこの1年間のご報告を退任のご挨拶にしたいと思います。

【新しい退院支援のスタイル】

「デイサービスには行きたくない」、「施設には入りたくない」と思っている人に、入院をきっかけに介護サービス利用を働きかけてもやはりそれでも利用が始まらないケースへの取り組み、従来はそこでめげざるを得なかったのに今はそこで止まらない、というのが病院の新しい退院支援のスタイルになっています。

【勉強会参加者みんなで体験した免許更新前の認知機能検査】

新しい活動のきっかけになったのは、先日2月21日上天草市社協が主催した認知症と運転をめぐる勉強会で参加者みんなが体験した高齢者講習の認知機能検査でした。この検査が点数不足だと3月12日以降は、認知症でないかどうかについて医師の診断を受けないと免許更新ができなくなった検査です。

【検査を受けた患者さんに教えてもらった交通の便がない地域で暮らすこと】

早速、近所の方々から車の運転を心配されている入院患者さんに、この検査を受けてもらいました。予想に反してその結果は決して点数不足ではありませんでした。そこでひとり暮らしのその患者さんに、運転について話を聞いてみると、交通の便がない地域で暮らす懸念なおもいに頷かざるをえませんでした。

【運転するってどういうこと、買い物するってどういうこと】

「警察の人ともなんども話をした。ゆっくり走って、迷惑かけないようにあとから来る車がいれば道を譲って運転している」「近くの先生のところでなく病

院まで来るのは、自分の病気をみつけて治してくれたのがこの病院だから」「買い物だって頼めば、お店から品物を買ってきてくれる人もいるが、やっぱり自分で並んでいる品の中から気に入ったものを買ってきたのだ」

【高齢者の自立支援】

その話を聞いたとき私が思い浮かべたのは、介護保険ができたときのことです。2000年の介護保険開始に向けて病院や社協のみなさんと一緒に、ケアマネージャーさんの資格を取るための勉強をしました。そのとき最も強調されたのが高齢者の自立支援、という介護保険の目標です。

【地域での支援には公式支援だけでなく、ご近所の支援がかかせない】

さらに後日談。日頃患者さんの支援を行っている担当者の司会で開かれた地域支援会議に出席して知ったことです。お隣の方がおかずの差し入れをされていること。民生委員さんがご近所のみなさんと一緒に道端のやぶ払いを行ない、運転の視界を妨げないように工夫されていること。司会の方の会議のまとめは、「できることはしてきました。あとは窓口を開けておいて待ちましょう。支援にはご近所の力がかかせません」でした。

新しい退院支援がはじまっていると実感した会議でした。つまり地域でも新しいスタイルの支援がはじまっていることでもあると思いました。

【認知症と運転をめぐる検査の問い合わせはこちら】

社会福祉協議会の担当者や病院のリハビリ担当者が検査方法や結果の計算式など一切を把握しています。さまざまな場でさまざまな人にこの検査を体験していただき、認知症と運転をめぐる話し合いをひろげていただくことを希望します。

研修会・勉強会の行事予定表

4月12日(水)	学研・基礎研修) バイタルサインチェックのポイント	17:30～ 当院6階講堂
4月19日(水)	学研・中堅研修) 呼吸器系のフィジカルアセスメント	17:30～ 当院6階講堂
4月28日(金)	がんサロン	13:30～ 当院6階講堂

医療施設の皆様の勉強会・研修会への参加をお待ちしています。

参加申し込み・内容等については、地域医療連携室『TEL0969-62-1122(代表)』までお問い合わせ下さい。

編集後記

〇桜の季節になったが、今年は開花が遅れているようだ。待ちに待った桜が咲けば、今度は風や雨が来ないことを祈り、敢え無く散ってしまえば、それもまた仕方がないことと、言い聞かせて過ごす。新年度の4月は、去ってしまった寂しさから、新しい環境に前を向いて進むしかない、と言い聞かせている。(福田)

4月 診療案内

	月	火	水	木	金	休診日
内科 (代謝内科 消化器内科 呼吸器内科)	樋口 定信 和田 正文 古川 祥太郎 熊大代謝内科	和田 正文 溝部 孝則 古川 祥太郎 前田 幸佑	樋口 定信 古川 歩生 中村 太造 応援医師	樋口 定信 溝部 孝則 和田 正文 守田 雄太郎	溝部 孝則 古川 歩生 応援医師 樋口／古川(祥) (隔週交代)	
	※4/4(火)、4/18(火)の前田医師の外来診療は休診となります。					
循環器内科	石井 正将	—	古川 祥太郎	—	西原 大貴	
小児科	—	熊大	—	熊大	—	
外科・肛門外科 消化器外科	福田 誠	城野 英利	福田 誠 蓮尾 友伸	城野 英利	福田 誠 (2.4) 城野 英利 (1.3.5)	
整形外科	藤松 晃一	上原 悠輔	藤松 晃一	【午後2時～】 林田 一公 (井戸川 友樹) (胤末 亮)	藤松 晃一	
	※毎週木曜日(予約制)は午後2時から午後5時まで診察を行います。 ※毎週火曜日の診療開始は10時20分から、受付は11時までとなります。					
産婦人科	姫野 隆一	姫野 隆一	姫野 隆一	姫野 隆一	姫野 隆一	
耳鼻咽喉科	—	熊大	—	—	熊大	4/7(金) 4/25(火)
眼科	栗井 麻衣子	竹下 哲二	竹下 哲二	竹下 哲二	竹下 哲二	4/7(金)
	※午後は、検査の予約外来です。ただし、月・水曜日は手術日です。					
皮膚科	—	—	—	尹 浩信	—	
泌尿器科	—	小川 愛一郎	—	—	—	
超音波・ 内視鏡センター	蓮尾 友伸 城野 英利 古川 歩生	蓮尾 友伸 福田 誠 古川 歩生	城野 英利 和田 正文	蓮尾 友伸 福田 誠 古川 歩生	蓮尾 友伸 福田 誠 城野 英利	
歯科・口腔外科	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	
	※午後は、1時～4時30分まで受け付けます。					

教良木診療所 応援	応援医師	中村 太造	応援医師	応援医師	樋口 定信 古川 祥太郎 (隔週交代)
御所浦診療所 応援	竹下 哲二 (午前)				

※診療受付時間は午前8時30分～11時30分まで行います。

※脳神経外科は月2回(第2、第4水曜日)の午後2時より診療を行います。(予約制)

※歯科口腔外科は月～金の午後も診療を行います。